

第 1 学年 技術・家庭科（技術分野） シラバス

前期（4月～10月）	後期（10月～3月）
家庭分野	技術分野

		学習する単元	主な学習内容
<p>I. 教科の目標 生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。</p> <p>II. 技術分野の目標 ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に活用する能力と態度を育てる。</p> <p>III. 家庭分野の目標 衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展開して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。</p> <p>IV. 評価の観点 次の4つの観点別学習状況を基本とし、どれだけ実現できたかによって評価する。 ① 生活や技術への関心・意欲・態度 生活や技術についての関心をもち、生活を充実向上するために進んで実践しようとする。 ② 生活を工夫し創造する能力 生活について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して自分なりに工夫し創造する。 ③ 生活の技能・技術 生活に必要な基礎的な技能を身につけている。 ④ 生活への知識・理解 生活や技術に関する基礎的な知識が身につけている。生活と技術との関わりについて理解している。</p> <p>V. 評価方法 ワークシートの記述量及び記述内容によって、評価する。また、定期試験や製作物の完成度によって評価を行う。</p>	技術分野	<p>○材料と加工の技術 ・材料の特徴と加工方法を知らう</p> <p>・設計の役割と製図法を知り、設計しよう</p> <p>・さまざまな加工法を身に付けよう</p> <p>・木材製品を製作しよう</p> <p>○生物育成の技術 ・生物育成に必要な技術を知らう</p> <p>・栽培計画を考えよう</p> <p>・野菜を育て、栽培記録をつけよう</p> <p>○技術の活かし方</p>	<p>・身の回りの製品に使われている材料や、その性質・特徴を知る。</p> <p>・身の回りの製作品は、必ず設計が行われていることを知り、設計に必要な知識と技術を身につけ、自らの製作物を設計する。</p> <p>・木材についての加工法、加工技術を磨くと共に、工具の適切な使用方法、使用目的を知り実践する。</p> <p>・これまでに学んだ技術を応用し自らが構想・設計した図面を元に、製作品を完成させる。</p> <p>・栽培、飼育、水産生物などを育てるための技術や身の回りにある生物育成の技術について知る。</p> <p>・学んだ技術をもとに、栽培計画を考える。</p> <p>・栽培計画をもとに、栽培を実践する。また、栽培を行うって良く上で、栽培記録をとる。</p> <p>・学んだ技術や体験してきた技術の活かし方を考える</p>